



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日

上場会社名 日東紡 上場取引所 東
コード番号 3110 URL <https://www.nittobo.co.jp>
代表者(役職名) 取締役代表執行役社長(氏名) 多田 弘行
問合せ先責任者(役職名) 上席執行役(氏名) 梶川 浩希 (TEL) 03-4582-5040
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けオンライン会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	81,520	19.8	11,811	107.1	13,196	94.8	9,421	75.6
2024年3月期第3四半期	68,041	△1.0	5,704	△2.4	6,773	△2.6	5,366	△31.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 8,572百万円(△20.7%) 2024年3月期第3四半期 10,803百万円(△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 258.77	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	147.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 216,460	百万円 130,078	% 57.5
2024年3月期	212,112	123,707	55.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 124,492百万円 2024年3月期 118,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 22.50	円 銭 —	円 銭 32.50	円 銭 55.00
2025年3月期	—	27.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	59.50	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	16.9	16,000	90.8	17,000	74.3	11,500	57.6	315.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 8 ページ記載の「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	37,723,012株	2024年3月期	37,723,012株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,315,638株	2024年3月期	1,314,573株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	36,407,933株	2024年3月期3Q	36,409,333株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料] 3 ページ記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米でのインフレに沈静化の兆しが見られるものの、米国での政権交代や中国の景気減速などにより、不安定な状態が継続しました。わが国経済は、企業収益や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復基調が継続した一方、不安定な為替相場、原材料・エネルギーコストの高騰、人件費の上昇などにより、先行き不透明な状況は継続しました。

このような環境の下、当社グループは長期ビジョン『Big VISION 2030』の実現に向けて2024年4月より新中期経営計画（2024-2027年度）をスタートしました。持続可能な社会実現に向け、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチNo.1を創造し続ける企業グループを目指しています。

当第3四半期連結累計期間では、高付加価値品の販売が好調に推移しました。

この結果、連結売上高は81,520百万円（前年同四半期比19.8%の増収）、営業利益は11,811百万円（前年同四半期比107.1%の増益）、経常利益は13,196百万円（前年同四半期比94.8%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,421百万円（前年同四半期比75.6%の増益）になりました。

各事業における状況及び取組みは次のとおりです。なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より報告セグメントを見直しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご覧ください。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

電子材料事業では、AIサーバー向けの旺盛な需要の継続により、低誘電特性を持つスペシャルガラスや、半導体パッケージ基板向けの低熱膨張特性を持つスペシャルガラスの販売が好調に推移し、収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高30,199百万円（前年同四半期比42.9%の増収）、営業利益は9,906百万円（前年同四半期比212.6%の増益）となりました。

メディカル事業では、体外診断用医薬品の販売は堅調に推移しました。この結果、当事業は売上高10,313百万円（前年同四半期比9.0%の増収）、営業利益は1,733百万円（前年同四半期比0.6%の増益）となりました。

複合材事業では、販売は前年同期を上回ったものの、生産設備の定期修繕に伴うコストアップなどの影響を受けました。この結果、当事業は売上高10,019百万円（前年同四半期比6.3%の増収）、営業損失は731百万円（前年同四半期は営業損失319百万円）となりました。

資材・ケミカル事業では、販売は前年同期を上回ったものの、原材料を中心とするコストアップなどの影響を受けました。この結果、当事業は売上高7,163百万円（前年同四半期比4.5%の増収）、営業利益は562百万円（前年同四半期比13.7%の減益）となりました。

断熱材事業では、コストアップなどの影響を受けましたが、高性能断熱材の販売が堅調に推移したことなどが収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高11,733百万円（前年同四半期比5.5%の増収）、営業利益は734百万円（前年同四半期比3.3%の増益）となりました。

その他事業は売上高12,090百万円（前年同四半期比20.4%の増収）、営業利益は323百万円（前年同四半期比5.5%の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は216,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,348百万円増加しました。主な要因は受取手形及び売掛金の増加などです。

負債は86,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,021百万円減少しました。主な要因は短期借入金の減少などです。

純資産は130,078百万円となり、自己資本比率は57.5%と前連結会計年度末に比べ1.8ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び事業環境の見通しに照らし、2025年3月期通期の業績予想を上方修正いたします。

2025年3月期 通期連結業績予想値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	109,000	15,000	16,000	10,500	288.40
今回修正予想 (B)	109,000	16,000	17,000	11,500	315.87
増減額 (B) - (A)	0	1,000	1,000	1,000	
増減率 (%)	0.0	6.7	6.3	9.5	
前期通期実績 (2024年3月期)	93,253	8,387	9,752	7,296	200.39

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,664	22,434
受取手形及び売掛金	32,529	36,018
商品及び製品	15,425	12,905
仕掛品	7,476	8,273
原材料及び貯蔵品	25,849	27,834
その他	4,020	2,840
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	108,960	110,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,944	20,231
機械装置及び運搬具（純額）	30,351	31,249
土地	15,789	15,687
リース資産（純額）	466	425
建設仮勘定	2,776	5,373
その他（純額）	1,511	1,676
有形固定資産合計	70,839	74,643
無形固定資産	3,066	2,987
投資その他の資産		
投資有価証券	23,049	22,676
退職給付に係る資産	3,796	3,912
繰延税金資産	1,066	648
その他	1,353	1,311
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	29,244	28,528
固定資産合計	103,151	106,159
資産合計	212,112	216,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,604	10,426
短期借入金	12,626	10,228
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	12,576	7,419
リース債務	262	207
未払法人税等	1,805	1,434
賞与引当金	1,083	1,298
その他	9,723	10,612
流動負債合計	51,683	41,628
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	16,638	20,778
リース債務	1,035	948
修繕引当金	5,753	4,554
役員株式給付引当金	59	99
退職給付に係る負債	5,354	5,026
その他	2,880	3,347
固定負債合計	36,721	44,754
負債合計	88,404	86,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,373	19,373
利益剰余金	67,925	75,151
自己株式	△3,018	△3,024
株主資本合計	103,979	111,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,041	7,754
為替換算調整勘定	5,333	4,801
退職給付に係る調整累計額	836	737
その他の包括利益累計額合計	14,211	13,292
非支配株主持分	5,516	5,585
純資産合計	123,707	130,078
負債純資産合計	212,112	216,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	68,041	81,520
売上原価	45,609	51,759
売上総利益	22,432	29,760
販売費及び一般管理費	16,727	17,949
営業利益	5,704	11,811
営業外収益		
受取利息	15	22
受取配当金	484	610
受取賃貸料	294	464
受取補償金	162	—
為替差益	720	562
資産売却益	—	262
その他	238	206
営業外収益合計	1,915	2,128
営業外費用		
支払利息	301	407
休止賃貸不動産関連費用	200	174
遊休設備費	259	53
その他	85	108
営業外費用合計	846	744
経常利益	6,773	13,196
特別利益		
固定資産売却益	0	89
投資有価証券売却益	—	23
特別利益合計	0	112
特別損失		
固定資産処分損	232	188
災害による損失	19	—
その他	4	—
特別損失合計	256	188
税金等調整前四半期純利益	6,516	13,120
法人税、住民税及び事業税	1,244	2,536
法人税等調整額	△91	963
法人税等合計	1,152	3,499
四半期純利益	5,364	9,621
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	199
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,366	9,421

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	5,364	9,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,682	△287
為替換算調整勘定	2,717	△660
退職給付に係る調整額	40	△100
その他の包括利益合計	5,439	△1,048
四半期包括利益	10,803	8,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,425	8,502
非支配株主に係る四半期包括利益	378	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子材料 事業	メディカル 事業	複合材 事業	資材・ ケミカル 事業	断熱材 事業	その他 事業	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	21,131	9,391	9,427	6,855	11,125	10,042	67,973	—	67,973
その他の収益	—	68	—	—	—	—	68	—	68
外部顧客への 売上高	21,131	9,459	9,427	6,855	11,125	10,042	68,041	—	68,041
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,672	—	756	1,426	44	2,311	10,211	△10,211	—
計	26,803	9,459	10,183	8,282	11,169	12,354	78,252	△10,211	68,041
セグメント利益 又は損失(△)	3,169	1,722	△319	652	710	342	6,277	△573	5,704

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△573百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子材料 事業	メディカル 事業	複合材 事業	資材・ ケミカル 事業	断熱材 事業	その他 事業	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	30,199	10,237	10,019	7,163	11,733	12,090	81,444	—	81,444
その他の収益	—	76	—	—	—	—	76	—	76
外部顧客への 売上高	30,199	10,313	10,019	7,163	11,733	12,090	81,520	—	81,520
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,150	15	799	1,690	23	2,450	13,129	△13,129	—
計	38,349	10,329	10,818	8,853	11,757	14,540	94,649	△13,129	81,520
セグメント利益 又は損失(△)	9,906	1,733	△731	562	734	323	12,528	△717	11,811

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△717百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2024年4月1日付で実施した組織改訂に伴い、報告セグメントを従来の「原繊材事業」、「機能材事業」、「設備材事業」、「ライフサイエンス事業」、「繊維事業」の5区分から、「電子材料事業」、「メディカル事業」、「複合材事業」、「資材・ケミカル事業」、「断熱材事業」、「その他事業」の6区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	5,327百万円	5,818百万円